



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第56号 平成20年4月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山地域 今年度の達目洞保全活動が始まりました！

- ・みんな力を合わせて湿地保全活動（4月19日）
- ・幼稚園の皆さんも大活躍！！

○みんな力を合わせて湿地保全活動

4月19日（土）に今年度最初の達目洞の保全活動が行われました。この日は「達目洞自然の会」の総会もあり、約50名の参加者が様々な活動に取り組みました。

今年度は地元の自治会と連携した活動や、幼稚園をはじめとした親子での活動参加の機会を提供する予定です。また、昨年度も実施した稲作に加え、放置されて荒地となった農地を耕し、農業や食に関心のある若者たちと一緒に作物づくりにも挑戦する予定です。今年も盛りだくさんの活動が達目洞で繰り広げられそうです。

さて、この日の活動は、護岸の補修作業や湿地に侵入したイグサなどの除去、稲作に欠かせない水を引き込むための水路の泥上げなど、多くの人手がないと、なかなか進まない力仕事に取り組みました。



達目洞自然の会 約50名が湿地保全活動に汗を流しました

イグサをはじめ湿地に生えている植物を取り除きます



冬の間に溜まった水路の土砂を取り除きます



崩れた護岸も補修しました！

耕作放棄地の枯草をみんなで運び、砂利道に敷きました。枯草は徐々に分解されて、質のよい土に変わっていくことでしょう。



○幼稚園の皆さんも大活躍！！

昨年度から一緒に活動を行ってきた岐阜北幼稚園の親子の皆さんも多数参加しました。活動に参加しはじめた頃は、子どもたちが自然と親しむことを目的とした小さな取り組みでしたが、今では親子で湿地保全活動に取り組むまでになりました。子どもたちにとっては、ただ自然の中で遊ぶのではなく、湿地保全活動という作業の中に、それぞれの楽しみを見つけ出しているようです。

外来植物を掘り起こしたり、枯草を運び出したり、護岸に使う竹材を並べたりするなど、一つ一つの作業に積極的に取り組む親子の姿を見ていると、非常に嬉しくなります。

幼稚園の親子の皆さんは、在来と外来のタンポポの違いを学習し、その後に外来のセイヨウタンポポの除草作業を行いました。



○おわりに

今年度も、市民と行政の協働による自然ふれあい活動が始まりました。それぞれの地域で進められている自然環境活動をこのかわら版を通して、市民の皆さんに情報を発信していきます。

また、この4月より市民の皆さんが見つけた自然環境に関する情報を発信していくウェブサイト「**ぎふネイチャーネット**」の本格運用が始まりました！ トップページでは「**今日の自然**」と題して、市民が見つけた岐阜市内の身近な自然情報が掲載されています。

皆様も岐阜市の自然に関する情報をお寄せください。お待ちしております！！

ぎふネイチャーネット HP アドレス：<http://www.gifu-nature.net/>



岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL : 058-265-4141 (内線：6452) FAX : 058-267-1374

E-mail : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「**ぎふネイチャーネット**」:

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：<http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>